

SGHの目的

120年の伝統、
定評あるハイ
レベルな授業

×

グローバル人
財育成の先進
的プログラム

||

グローバル・
リーダーの資質
を身に付ける

多様な学校行事は生徒の自主性を重視し、グローバル社会に生きる責任ある行動と協同して探究活動に取り組む態度を育む。

筑波大学・筑波銀行・土浦市との高大産官連携により、実践的な探究活動に取組み、人的ネットワーク、コミュニケーション能力を育む。

本校オリジナルテキスト「土浦一高生のための国際教本」をもとにした課題研究により、幅広い視野、英語・ICTの専門スキルを育む。

■ 構想名

「生物資源を活かすビジネスを起業する課題研究で育むグローバル人財」

■ 構想の目玉

地域全体で利点を共有できる「土浦・つくばWin-Winプラン」の提唱。

地域全体の活性化

生徒のキャリア創造

土浦一高

グローバル
高校生輩出

ビジネスプラン
提案

講師・留学生
派遣

起業教育

筑波
大学

異業種
交流

筑波
銀行

学生の能力向上

地域貢献活動

新しい大学入試にも対応

■ H27年度入試 合格者

- ・東京大学23名（現役15:全国公立校2位）
- ・筑波大学57名（全国最多）
- ・早稲田大学68名 ・慶應義塾大学43名
- ・国公立計217名 ・国公立医学科22名

■ グローバル入試 本格始動

・東京大学では平成28年度入試から、高校時代に探究活動等を行い作成した研究論文の提出などを求める推薦入試をスタート。

・筑波大学ではスーパーグローバルハイスクール指定校入試や大学教員推薦生徒の優遇制度を導入予定。

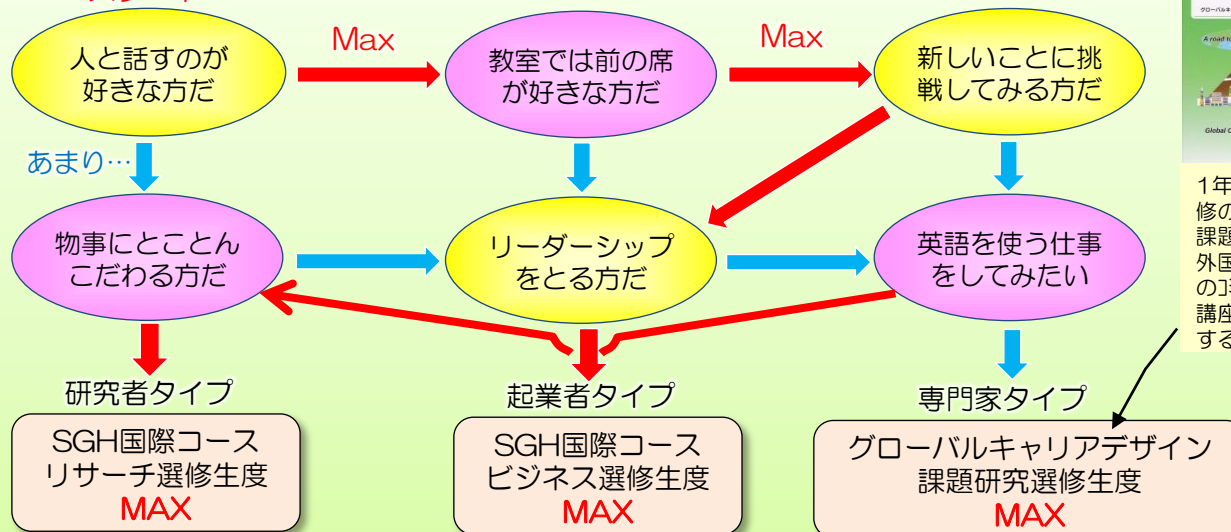
注目だも



■ 小・中学生の君へ

「土浦一高SGHマッチング度」診断

スタート



在校生の声

大子町の三宝産業では、おからを家畜の餌にし、その家畜から肥料を得て農業へと繋がる仕組みを学び、自分の起業プラン考案の上でとても参考になりました。また今回の研修では様々な場面で発言する機会が与えられ、グローバル・リーダー養成コース生としての自覚も生まれました。



H27年4月起業者
訪問・大子町にて

鈴木麻衣子
(石岡城南中出身)



H27年3月 スーパー
グローバル大学シンポ
ジウム・東京にて

岩井 渚

(シカゴ日本人学校出身)

私と同年代の学生と一つのトピックに関していろいろな意見を英語で共有する、よい機会であった。今までは学校の中を基準として学習を進めていたが、これからは基準を外に置いてさらに上のレベルを見据え行動したいと強く思った。



1年生全員必修の科目だ。課題研究や外国人教師のコミュニケーション講座などをするよ。

